

平成26年度青森県公社等経営評価書

(平成25年度決算ベース)

法人名等				法人の自己評価(経営評価指標)			
6	(公財)青森県フェリー埠頭公社						
所管課名	県土整備部港湾空港課						
決算状況 (単位:千円、%)							
出資	資本金	県出資額	県出資比率				
	20,000	20,000	100.0				
決算	前期一般正味財産増減額	当期一般正味財産増減額	一般正味財産期末残高				
	483,142	73,966	4,770,678				
資産	資産	負債	正味財産				
	5,464,395	673,717	4,790,678				
財務分析指標				上記についての所管課の意見・評価			
正味財産比率	経常比率	総資産当期経常増減率	県財政関与率	補助金収入率	【目的適合性】 ◎		
87.67	114.79	1.36	0.53	0.00	フェリーによる交通機関は、現在でも公共交通の確保という点で相当の需要があり、存在意義がある。今後も利用者ニーズに対応した取組を進めていくこと。		
受託等収入率	管理費比率	人件費比率	流動比率	借入金比率			
0.00	6.83	13.49	210.22	7.97			
経営評価結果				【計画性】 ◎			
評価区分	A:概ね良好			事業計画をベースに、PDCAのサイクルを通じて、堅実に経営に取り組んでいる。今後は船社との協議を進め、中期経営計画の見直しを早急に進めること。			
<財務状況> 財務の状況については、安定的に黒字を確保していることは評価できる。平成8年、13年に施設取得等に要する費用について県からの借入があるものの、着実に償還しており、経営上問題がないと認められる。				【組織運営の健全性】 ◎			
<経営状況> 法人が自己評価した経営評価指標の項目については、各評価項目において、おおむね妥当なものと認められる。				おおむね内部統制は堅実に運営されている。今後は一層第三者の視点を意識した取組に力を入れていくこと。			
<留意事項> フェリー埠頭等の施設の維持管理については多額のコストが見込まれることから、中長期的にマネジメントしていくことが重要である。将来的な維持管理コストを適切に見積もり、財源等の手当も含めた施設維持管理のための計画等の策定が求められるほか、当該コストについて、フェリー埠頭を利用する船社との間で費用負担を明確化し、適切な棧橋等賃料を設定することも必要となる。大規模災害時における重要なインフラ施設でもあることから、県等の関係機関を含め、多面的な観点から、施設維持管理等の計画の検討・策定を進めていただきたい。				【経営の効率性】 ○			
				着実に管理費削減を行っている。今後は管理費の削減目標を設定するなど、一層きめ細かな取組を進めていくこと。			
				【財務状況の健全性】 ◎			
				財務内容はおおむね健全で特段問題は無い。引き続き堅実な経営を進めること。			